

類別:機械器具 2 5 医療用鏡
一般的名称:双眼ルーペ (32692000)
一般医療機器

ペンタックス 偏向ルーペ KP303

【禁忌・禁止】

- ・本品を使用して太陽やレーザー光、光源などの強い光を見ないで下さい。〔視力障害を負う可能性があります〕
- ・ルーペと目の位置、WDが合わないまま使用しないで下さい。
- ・本品を使用して歩行や運動をしないで下さい。
- ・本品を水洗いや超音波洗浄をしないで下さい。
〔防水構造ではありません〕
- ・本品の分解や改造をしないで下さい。

【形状・構造及び原理等】

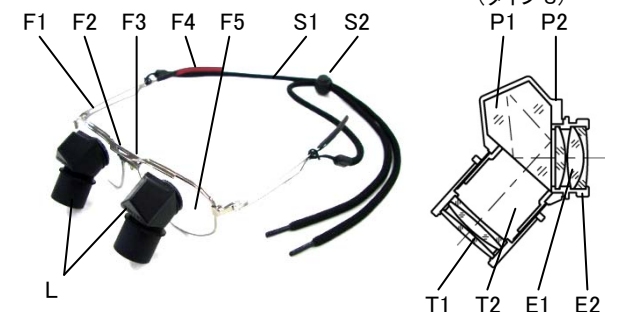
* <<種類>>

型式	S シリーズ			N シリーズ	C シリーズ		
	S20	S25	S30	N50	C30	C35	C40
倍率	2	2.5	3	5	3	3.5	4
射出瞳径 (mm)	6.4			4.2	4.9	4.6	4.3

(注) 型式の後にはフレームカラーを示すアルファベットが付く。
(例 S20R、C30W)

ワーキング ディスタンス(WD): 35~70cm

<<形状・構造>>



F: 眼鏡部

F1: テンプル、F2: フロントフレーム、F3: ノーズパット、F4: モダン
F5: 眼鏡レンズ

L: ルーペ部

P1: プリズム、P2: プリズム枠、T1: 対物レンズ、T2: 対物レンズ枠
E1: 接眼レンズ、E2: 接眼レンズ枠

S: ストラップ

S1: 紐、S2: ストッパー

<<原理等>>

対物レンズにより結像し、プリズムで像を正立させ、接眼レンズで拡大することで、術野が拡大観察される。
本医療機器は、プリズムを組み込んだレンズユニットを用いて光を 3 次元的に偏向させる光学設計とすることで、頭頸部の持続的な屈曲姿勢を取る事無く、頸部への負担の少ない前方視の姿勢かつ眼球への負担の少ない概平行視の状態、斜め下方の術野を拡大することができる。
また、装着時の姿勢を前方視とする事で装着者の影が術野にかかる事を低減することができる。

【使用目的又は効果】

外科処置時に術者が装着する眼鏡に取り付ける光学レンズから成るシステムで、小型望遠鏡として機能し、作業野の拡大像が得られる。

【使用方法等】

1. 使用前点検

- ・各部品にガタ、緩みがないことを確認して下さい。
特に、眼鏡レンズを取り付けているネジに緩みがないことを確認して下さい。
- ・使用者が覗いて、ルーペ視野の左右に通常と異なるズレがないことを確認して下さい。

2. 使用法

- (1) 市販の眼鏡と同様に、本品を頭にかけます。
- (2) ストラップを締めて、本品を頭部に固定します。
- (3) 対物レンズを回してピント調整し、固定リングで対物レンズを固定します。調整の詳細は、取扱説明書をご参照下さい。

3. 使用後のお手入れ

- ・本品に付いた汚れを消毒用アルコールで拭き取ります。
- ・レンズの汚れは、ガーゼや市販のレンズクリーニングペーパーにレンズクリーナを含ませて拭き取ります。

<<使用方法に関連する使用上の注意>>

- ・対物レンズは近くが見える方向に回し過ぎると外れますので、仕様のWDの範囲内でピント調整して下さい。また、治療中の落下防止の為、ピント調整は事前に行って下さい。

【使用上の注意】

- ・本品を【使用目的】に記載の目的以外に使用しないで下さい。
- ・事前に本品を使用した立体視に十分に慣れた上でご使用下さい。
- ・使用者の呼気等で曇らないような室温・場所でご使用下さい。
- ・本品の急激な温度変化は曇りの原因となるので、避けて下さい。
- ・落下防止の為、必ずストラップを締めてご使用下さい。
- ・ピント調整後は、必ず対物レンズを固定リングで固定して下さい。
- ・本品をシンナー、ベンジンで拭かないで下さい。

【保管方法及び有効期間等】

<<保管方法>>

- ・本品を付属ケースに収めて塵埃を避け、使用時の曇り防止の為、使用場所と温度差の無い場所に保管して下さい。
- ・直射日光下や高温環境下で保管しないで下さい。
- ・カビ、ヤケ、曇り防止の為、高湿度環境下、及び、化学薬品がある場所、ガスの発生する場所には保管しないで下さい。

<<有効期間>>

【使用上の注意】<<保管方法>>を順守して使用した場合に限り、納入後6年〔自己認証(当社データ)による〕。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者

HOYA Technosurgical 株式会社
電話番号 03-5369-1710

製造業者

サワ精機株式会社

取扱説明書を必ずご参照下さい。